

統 括 本 部 報 告

地域本部長会議報告(能登本部長)

平成25年度 第2回地域本部長会議報告

日 時：平成25年10月11日(金)
13:30～17:00

場 所：日本技術士会 田中山ビル9階会議室

出 席 者：(統括本部)吉田会長、山崎副会長、鮫島副会長、佐竹副会長、高木専務理事、西村常務理事、横山常務理事、他事務局3名

(地域本部長)能登(北海道)、吉川(東北)、大谷(北陸)、福岡(近畿)、大田(中国)、武山(四国)、甲斐(九州)

議 長：渡邊中部本部長、書記：水野中部本部事務局

会長挨拶：全国大会開催の御礼。技術士の知名度の向上と会員の拡大に努める方針である。

【議事】

1. 統括本部報告および質疑【主要議題】

(1) 2014年当面の主要日程

- ・6月18日、定時総会、会長表彰、懇親会。
- ・10月26日～28日、日韓技術士会議を開催予定。
- ・11月9日～12日、技術士全国大会(九州)。

(2) 統括本部事務局移転検討特別委員会の設置

経費節減のために統括本部事務局移転をすべきか検討する特別委員会を設置。今期は単価引き下げ交渉に留め、来期の契約更新交渉時期(平成27年7月頃)に向け、移転検討を進める。

(3) 科学技術・学術審議会技術士分科会等検討状況報告

第28回技術士分科会(7/23)の報告等があった。詳細は文部科学省のHPを参照のこと。

(4) 技術士第二次試験筆記試験受験結果及び第一次試験受験申込状況

・総監除く部門 申込み 27,138名(JABEE 1,150名)、受験者数 19,834名(861名)、受験率 73.1%(74.9%)。

・総監 申込み 4,259名(13名)、受験者数 3,293(10名)、受験率 77.3%(76.9%)。

・総合計 申込み 31,397名で前年より約1,600名減。

・第一次試験受験申込者数 19,317名で前年より2,800名減。

(5) WEB会議システムを利用した地域本部長会議の開催について【審議】

統括本部開催とし、年1回のWEB開催および年1回の地方開催を見送る。

(6) その他：依頼業務斡旋の紹介(業務斡旋)に関する留意事項

契約の形態が、職員や嘱託社員としての採用や、採用を前提とした契約は、違法である。請負契約であれば、問題ない。

(7) その他

- ・総務委員会関連事項
- ・企画委員会運営方針について
- ・「CPD定期審査員」の推薦依頼について
- ・講演会内容のWEB掲載状況 など

2. 地域本部報告【主要議題】

(1) 北海道本部(能登)

- ・第40回技術士全国大会(札幌)開催結果報告(速報)。最終参加者：大会参加者610名、ウェルカムパーティ210名、大会式典379名、記念講演447名、交流パーティ311名。
- ・組織上の問題点、総務委員会扱い：技術士の紹介要請への対応について。→人材斡旋は問題だが、仕事の紹介は問題なし(統括本部)。
- ・CPD制度・運用上の問題点、研修委員会扱い：技術士CPD登録証明書の発行障壁について。→研修員会で検討(統括本部)。

(2) 東北本部(吉川)

- ・11月21日第16回北東3地域本部技術士交流研修会を、福島県いわき市で開催予定。
- ・ILC(国際リニアコライダー)の候補地決定

(岩手県、北上山地)と、日本への誘致推進について理解と協力を要請。

- ・2015年3月開催予定の国連防災会議(仙台)に東北本部は積極的な参加を考えている。防災支援委員会(大元守委員長)の協力を得たい。
- ・組織上の問題点、総務委員会扱い：地域における技術士CPDと財政事情の実態、地域会員への会費の還付(率)の再検討について(前回に引き続いての再度の要望)。→会費の還付(率)は、企画委員会で検討(統括本部)。

(3) 北陸本部(大谷)

- ・11月28日国土交通省北陸地域整備局との意見交換会を開催予定。
- ・11月29日第42回技術士全国大会第1回実行委員会を開催予定。
- ・事務局運営上の問題点：WEB会議システムを利用した講演会の開催について提案。地域組織の財源について検討する組織設置の提案。CPD証明の速やかな発行を要請。
- ・会計管理上の問題点、企画委員会扱い：検討組織を作って欲しい。
- ・組織上の問題点、総務委員会扱い：「地域組織の設置運営に関する規則」第23条について4項に「技術士以外の」部分を「技術士及び技術士以外の」太字を追記願いたい。定数以内であれば信任投票を廃止して欲しい。→検討する(統括本部)。次回選挙までの期間が1年以内であれば支部設置時の幹事の任期を3年としてはどうか。

(4) 近畿本部(福岡)

- ・11月29～30日2013日中科学技術シンポジウムをキャンパスプラザ京都にて開催予定。
- ・26年3月1日合同セミナーを大阪科学技術センタービルにて開催予定。テーマは、「南海トラフ地震に対して、地域は如何に備えるべきか(仮題)」。
- ・会計管理上の問題点、企画委員会扱い：地域組織活動費の早期復活について(要望)。→再来年の6月までには改善したい(統括本部)。

(5) 中国本部(太田)

- ・11月9日岡山市(三光荘)にて合同セミナーを開催予定。テーマ「地域活性化に貢献する環境への取り組み」。
- ・会員拡大取り組み活動として、津山工専と岡山県支部の連携協定の締結、島根大学(物質化学領域)の院生(JABEE過程修了者)に対する支援、安芸太田町等への理科教育支援を実施。
- ・中国本部は、「広島地域中小企業支援プラットフォーム(代表機関：公益財団法人広島市産業振興センター)」に参画。専門家として会員を推薦できるようにするのが目的。
- ・組織上の問題点、総務委員会扱い：「地域組織の設置運営に関する規則」第16条(個別規則の制定)において、「総務委員会の承認を得て地域本部役員会において定める」の項の見直し依頼。→要検討(統括本部)。中国本部における会誌購読制度の導入について。→検討中(統括本部)。

(6) 四国本部(武山)

- ・7月13日年次大会及び役員会を松山市道後姫塚「にぎたつ会館」にて開催。
- ・10月25～26日第19回西日本技術士研究・業績発表年次大会を高知市本町「高知会館」にて開催予定。テーマは『地域存続に向けた相互扶助と技術士に期待されるもの』。

(7) 九州本部(甲斐)

- ・10月19日第33回合同セミナーを北九州イノベーションギャラリーにて開催予定。テーマは、「グリーンビジネスへの取り組み」。
- ・平成26年11月9日(日)～12日(水)第41回技術士全国大会(福岡)を福岡国際会議場にて開催予定。11月10日(月)記念式典。
- ・会計管理上の問題点、企画委員会扱い：県支部補助金の交付時期及び決算書記載書式について。

(8) 中部本部(渡邊)

- ・11月8日合同セミナーを各務原市テクノプラザにて開催予定。テーマは、「岐阜発！世界へ羽ばたく航空機産業」。
- ・組織上の問題点、総務委員会扱い：支部単位活動化を検討するので関連情報を提供依頼。

- ・会計管理上の問題点、企画委員会扱い：中部本部活動に対する予算計画と収支報告に関する指導依頼。統括本部からの交付金増額に関する情報提供と資金拡大に関する方策についての指導。

(9) その他の事項として(統括本部より)

- ・本部長会議にて議論した内容を理事会にもあげていく。
- ・同じ地域本部の総務委員や理事、本部長との間で、意見の齟齬が無いようにして欲しい。

理事会報告

平成 25 年度 第 3 回(森理事)

日 時：平成 25 年 9 月 12 日(木)
13：00～17：00

場 所：萱手第二ビル 5 階会議室
議題(主なもの)

【審議事項】

1. 統括本部事務局移転検討特別委員会の設置

会長及び事務局から説明があり、原案通り特別委員会設置が了承された。特別・一般会計共に現在赤字状況にあること、今後の見通しとして、早期に現状からの脱却・回復が見込める状況にないこと等から、更なる経費削減の一環として統括本部事務局の移転について検討を行うこととした。平成 27 年 3 月または 5 月理事会において最終決定を得られるよう検討を進める。

2. 研修委員会大学広報ワーキンググループの設置とワーキンググループ員の委嘱

西村委員長から説明があり、原案通り了承された。これは JABEE 課程等に対する技術士及び技術士制度の広報活動の推進を目的として設置するものである。原案通り 6 名の委嘱が承認された。

3. 社会貢献委員会工事監査支援ワーキンググループの設置とワーキンググループ員の委嘱

橋場委員長から説明があり、原案通り了承された。これは地方公共団体からの工事監査に関わる依頼に対応すべく前期に引き続き設置するものである。原案通り 7 名の委嘱が承認された。

4. 男女共同参画推進委員会女子学生支援ワーキンググループの設置とワーキンググループ員の委嘱

岩熊委員長から説明があり、原案通り了承された。これは、JABEE 課程及び技術者を目指す女子学生等への技術士取得支援等を目的に設置するものである。原案通り 8 名の委嘱が承認された。

5. 会員の入会等について

事務局から説明があり、入会について原案通り了承された。合わせて平成 25 年 7 月末現在、正会員 14,408 名、準会員 3,582 名、賛助会員 156 社との報告があった。

【報告事項】

1. 平成 25 年度技術士第二次試験筆記試験受験結果報告

事務局から受験者数は 23,127 名であったこと等の報告があった。

2. 平成 25 年度技術士第一次試験受験申込状況報告

事務局から申込が 19,317 名(前年比 2,861 名減)との報告があった。

3. 科学技術・学術審議会技術士分科会等報告

事務局から資料に基づき、標記分科会等での今後の技術士制度のあり方等についての検討状況等の報告があった。

4. 東日本大震災復興支援活動状況報告

大元委員長から資料に基づき、福島県避難者交流会・相談会及びいわき市総合防災訓練での支援活動等について報告があった。

5. 中小企業庁が進める「地域プラットフォーム」への参画について

事務局から資料に基づき、各「地域プラットフォーム」に構成機関として参画することとしている地域本部及び県支部の報告があった。

平成 25 年度 第 4 回(森理事)

日 時：平成 25 年 11 月 14 日(木)
13：00～17：00

場 所：萱手第二ビル 5 階会議室
議題(主なもの)

【審議事項】

1. 統括本部事務局移転検討のための特別委員会委員の委嘱

会長及び事務局より説明があり、原案通り6名の委嘱が承認された。

2. 会員の入会等

事務局から説明があり、入会について原案通り了承された。合わせて平成25年9月末現在、正会員14,380名、準会員3,578名、賛助会員156社との報告があった。

【報告事項】

1. 平成25年度技術第二次試験筆記試験結果

事務局から資料に基づき以下の報告等があった。

- ・総監除く部門 合格者3,704名(前年3,787名)、合格率18.7%(17.9%)。
- ・総監 合格者数488(前年303名)、合格率14.8%(8.3%)。

2. 科学技術・学術審議会技術士分科会制度検討特別委員会報告

事務局から資料に基づき、標記特別委員会での主な発言など検討状況等の報告があった。詳細は文部科学省のHPに掲載されている。

3. 平成26年度消費税改定への対応

事務局から資料に基づき、平成26年度は一般会計では約600万円、特別会計では約1,200万円の支出増が見込まれるとの説明があった。そこで、以下の通り対応することとなった。

- ・一般会計では、個別項目には反映させず、極力削減努力により吸収することを基本とする。
- ・特別会計では、文部科学省と対応を協議する。
- ・一般会計における会費収入以外への対応については、極力増税分は収入に反映させることを基本方針とするが、講演会等参加費や2千円未満の頒布資料、CPD登録関係(会員)については、増税分の反映は行わず、本会が負担することとする。

4. 賛助会員企業への講演会無料参加券の配布

事務局から資料に基づき説明があり、前期企画委員会の会員拡大小委員会での検討結果を受け、賛助会員企業の未入会技術士の入会を促すため、当会行事への優待券を発行することとなった。

- ・CPD行事を中心とする。
- ・招待券1枚で、非会員2名まで無料参加可能。
- ・1口当たり5枚の優待券を発行。
- ・本券有効期限は2014年9月30日まで。
- ・懇親会が含まれている行事、会員参加費が4千円以上となるものは除く。

5. 第40回技術士全国大会開催結果報告

森理事より資料に基づき、参加人数や反省点等開催結果概要の説明があった。全国大会の基本ルール、ガイドライン策定の提案があった。

6. 本会の名称表記に関する手引き制定

山崎総務委員長から資料に基づき、本会の名称表記としては当面(公社)という表記は使用せず、以下の3つのいずれかとするのが報告された。

- ・公益社団法人日本技術士会
- ・日本技術士会
- ・本会(主に内部文書において使用)

7. 常設委員会等各委員会からの報告

主なものを以下に列記する。

(1) 総務委員会

- ・本会の5つの商標登録をなるべく使用して使用実績を増やすように。

(2) 企画委員会

- ・H25年度の実行額を上限として予算編成を行う。
- ・H26年度は、IPEJ-PDM(プロジェクト・デザイン・マトリックス)を試行的に作成する。

(3) 研修委員会

- ・他学協会に比べてCPD登録証明書発行の条件が厳しい(他学協会の1年に対し3年)とされる日本技術士会のCPD制度の見直しを年度内に実施し、新制度を26年度からスタートさせることを目標とした。

(4) 男女共同参画推進委員会

- ・技術士約77,000人→そのうち女性は約1.4%(1,100人弱)
- ・日本技術士会の会員約17,000人→そのうち女性は約2.1%、約350人

8. H25年度業務状況(統括本部9月末時点)

事務局より資料に基づき業務状況(収支状況等)の報告があった。

[以上]